



*今月号は私が担当しました。



課 振興 営農
係 渉外 営農
渡 邊 敦

春ブロッコリーの育苗管理

秋冬ブロッコリーを栽培している方は、繁忙期だと思えますが、11月から準備が始まる、春ブロッコリー育苗時の注意点をご案内します。

まず始めは、温度管理についてです。発芽の適温が20～25℃のため、播種してから出芽するまでの間は、トンネルや電熱線等を使用し、温度の確保をしましょう。冷気が育苗ポットの下を通らないよう、低い位置で管理してください。育苗ハウスに穴がある場合は、事前に修復しましょう。

続いて、水分管理です。水分が多すぎてしまうと、発芽不良や苗の徒長に繋がってしまいます。播種後出芽までは、なるべく灌水を控え、出芽後の灌水は朝に行い、

育苗ポットから水が少し垂れる程度にしてください。

育苗中は、苗の生育に合わせて温度管理をしていきます。生育初期は23～25℃程度で、徐々に低くし、定植前には圃場の温度に近づけるように管理を行います。

また、育苗中は多湿になりやすいので、べと病の発生に注意してください。発芽直後の幼苗に発生すると、枯死することもあります。子葉展開時に、べと病に効果のある薬剤を散布して発病を予防し、健康な苗の定植が出来るよう心掛けましょう。

◎おすすめの農薬

RACコード	薬剤名	使用時期	回数	作用特性
40	レーバスフロアブル	7日前	2回	予防+治療
U17	ピシロックフロアブル	前日	2回	予防+治療
21	ライメイフロアブル	7日前	4回	予防